

2021年1月17日 NO.56-3

《開会 午前10時30分》		—礼拝式順序—	
※は一同ご起立下さい。		司式	吉田謙牧師
		奏楽	K兄弟
前 奏			
礼拝への招き	ヨハネの手紙一 4章10節		
挨拶			
※賛美	詩編歌 121 (1)		
祈 禱			
罪の告白			
静 思			
赦しの宣言			
平和のしるし			—神の招き—
照明の祈り			
聖書朗読	ヨハネによる福音書 3章16節～21節 (新約167頁)		
説 教	「神の愛」		
祈 禱		吉田謙牧師	
静 思			—神の言葉—
※賛美	506 (1)		
※信仰告白	ウエストミンスター小教理問答 問19 (週報裏面)		
※使徒信条			
献 金	G姉妹・K姉妹・H姉妹		
執り成し		吉田謙牧師	
主の祈り	(週報裏面)		—感謝の応答—
※頌 栄	544		
※祝福と派遣	吉田謙牧師		
※アーメン三唱	40-5 (讚美歌21)		
報 告	礼拝当番 M執事・S姉妹		—派 遣—

※体調のすぐれない方は座席についたままで礼拝にご参加ください。

《罪の告白と赦し》

罪の告白への招き

司式 罪人である私たちを、神様はなお憐れみをもって招いておられます。
ですから、今、私たちは、神様の御前に入るにあたって、
自らの罪を、へりくだりと信仰をもって、神様に正直に告白いたしましょう。

罪の告白

司式 一同で罪の告白をいたします。皆様は心の中で告白してください。

一同 とこしえにいます父なる神よ。
私たちは御言葉を悟らず、不信仰に傾き、
自分の力によっては御心にかなうことのできない
罪人であることを告白します。
今、あなたの御心を痛めたことを悔い、
あなたの憐れみを呼び求めます。
どうか、御子イエス・キリストのゆえに、
私たちをお赦してください。
そして、聖霊の導きによって
正しい道を歩むことができる者とならせてください。

司式 しばらく目を閉じて、一週間の歩みを振り返り、それぞれ犯した罪を思い起こしましょう。そして、その罪を心から悔い改め、その赦しを神様に願い求めたいと思います。しばらく心静まる時間を持ちます。（４０秒）

赦しの宣言

司式 良き知らせを聞きなさい。
だれが罪を裁き、罰を与えることができるでしょうか。
律法をつくられたお方、律法を完全に守られたお方、
イエス・キリストお一人だけです。しかしこのお方は、私たちの罪のために
十字架にかかり、罪に勝利して復活されました。いまも世界を支配し、
いまも私たちのために執り成しの祈りをささげておられます。
キリストにある者はだれでも、新しく造られた者です。
古い命は過ぎ去り、新しい命による歩みが始まりました。
あなたがたの罪が赦されたことを信じ、平安でありなさい。

一同 アーメン。

平和のしるし

司式 神がキリストにあって私たちを赦してくださいました。
私たちも互いに赦しあいましょう。
主イエス・キリストの平和があなたがたと共にありますように。

一同 アーメン。

今日の集会

- ◇教会学校(オンライン併用) 9:30~10:15
 〈司会〉 G先生
 〈お話〉 Y先生
- ◇成人学級 10:00~10:20

《前週統計》

祈禱会・求道者会・教会学校はネット併用で開催

2021/1/10		男性	女性	男児	女児	合計
集	礼 拜	1 2	2 4	2	3	4 1
	祈 禱 会	2	1	0	0	3
	求 道 者 会	1 (4)	2 (6)	—	—	3 (10)
	オリキッズ	—	—	—	—	—
会	礼拝の恵み	—	—	—	—	—
	教 成人科	7	7	—	—	1 4
	幼稚科	3	7	1 (0)	2 (0)	3 (0)
	小学生	—	—	1 (2)	0 (1)	1 (3)
統	中 高 生	—	—	0 (2)	0 (0)	0 (2)
	献 金	礼 拜		3 7, 3 6 0		
計	教会学校			2, 0 0 0		

今週の集会

- ◇祈 禱 会 1月20日(水) 午前10時30分～ オンライン併用 旧約聖書の学び
- ◇相 談 日 1月20日(水) 午後2時～5時 牧師相談日
- ◇求道者会 1月21日(木) 午前10時30分～ オンライン併用 (家庭集会と合流)

次週の集会 (1/24)

- ◇教会学校 〈司会〉 Y先生
 (ネット) 〈お話〉 U先生
- ◇成人学級 〈担当〉 吉田謙牧師 午前10時～10時20分
- ◇礼 拜 〈説教〉 吉田謙牧師「衰えても、なお喜ぶ」
 〈聖書〉 ヨハネによる福音書3章22節～30節
 〈旧約聖書〉簡易礼拝のため省略
 〈新約聖書〉簡易礼拝のため省略
 〈讃美歌〉 詩編歌 1 2 1・5 3 8・5 3 9
 〈司式〉 吉田謙牧師 〈奏楽〉 G姉妹
 〈献金〉 K姉妹・H姉妹・G姉妹
 〈礼拝当番〉 M執事・S姉妹

お知らせ

- ◇1月24日(日)礼拝後に定期会員総会を開催する予定でしたが、新型コロナウイルスの急速な感染拡大により、急遽延期することといたしました。そこで重要事項のみ文書にて仮決議することといたします。年報をよく読んで、配付した仮決議のための投票用紙にご記入ください。記入した投票用紙は牧師の週報ボックスに投函するか、教会宛に送付してください。返送の方法は、郵便、あるいはファックス、または自署した投票用紙を写真に撮ってメール添付していただいても結構です。締切：1月30日(土)。
- ◇新型コロナウイルスの感染が急激に拡大しつつあるため、基礎疾患のある方や公共交通機関を利用して来られる方は、命を守るために極力自宅で礼拝を捧げるようにして下さい。また礼拝に出席する際には必ずマスクを着用し、一階でアルコール消毒をして下さい。また密集を避けるため基本的には一つの机に二人ずつ座るようにして下さい(家族は例外)。
- ◇祈禱会・求道者会・教会学校は、オンラインを併用しながらおこないます。その他の諸集会は、当面、休会といたします。
- ◇ラジオ伝道番組「キリストへの時間」(ラジオ関西 55.8KHz 日曜日午前7時30分～45分)を聞きましょう。1月24日放送予定：國安光先生(園田教会)「おばあちゃんが残してくれたもの」
- ◇掲示板
 * I 神学生より礼状が届いています。

* 西部中会中高生会zoomミーティング開催の案内が届いています。

1月22日(金)午後8時～9時(ミーティング ID 366 621 8858)

メッセージ：國安光先生(園田教会) 毎月第4金曜日午後8時～開催しています。

1月の祈禱課題

- ①新しい年の歩みのために。 ②昨年加入された方々、受洗された方々を覚えて。
③会員総会のために。 ④新型コロナウイルス感染症予防のために。 ⑤神学校のために。
⑥遠ざかっている方々を覚えて。 ⑦病中の方々を覚えて。 ⑧求道者の方々を覚えて。
⑨川島利子姉妹のために。 ⑩年間教会標語「教会に生きる喜び」
⑪豪雨災害、大阪北部地震、北海道地震、熊本地震、東日本大震災の復興のために。
⑫滋賀摂理教会・千里山教会・園田教会・神戸長田教会・恵泉教会・板宿教会・南与力町教会のために。
⑬1月生まれの方のために。

今月の掃除当番 男子会・青年会

【本日の聖書日課のテーマ】「最初の弟子たち」

旧約聖書 エゼキエル書2章1節～3章4節：エゼキエルの召命

新約聖書 マタイによる福音書4章18節～25節：四人の漁師を弟子にする

「二人はすぐに網を捨てて従った」(マタイ4:20)

主が御自分の弟子たちを選ばれたとき、まず最初に弟子たちがしなければならなかったのは「捨てる」という行為でした。「網」を捨て、「船」を捨てて、彼らはイエスに従いました。

人生の年輪を重ねれば重ねるほど、私たちの「持ち物」は多くなっていきます。その「持ち物」とは、物質的な物や財産のこともありますし、家族や友人との交わりや様々な人間関係、また長年積み上げてきた実績とか社会的な地位や役割など、実に様々なものが含まれます。長く生きれば生きるほど、「持ち物」は自然と多くなっていき、多くなればなるほど、そうした「持ち物」に執着することも起こってくるのです。私たちは本当に大切なものとそれほどでもないもの、あるいはむしろ捨ててしまった方がいいようなものを見分けもつかぬまま、時にはこうした「持ち物」のために、かえって悩まされたり、葛藤するようなことすら起こるのです。

エゼキエルは神から呼びかけられたとき、「人の子よ、自分の足で立て」(2:1)と命じられます。あなたを飾り立ててきた様々な「持ち物」を捨て、神の御前にまさしくあなた自身となって、「立つように」と言われたのです。

世界中を旅する経験を重ねてきたある牧師がこう語っていたのを覚えています。「旅の荷物は軽い方がいい」。主イエスに従って旅立った弟子たちにとって、また神の国に向かって旅する私たちにとっても、この言葉は真実ではないでしょうか。

「捨てる」という行為を突発的な出来事、一回限りの出来事と理解するのは正しくありません。弟子たちは、この後、繰り返し「捨てる」ことを求められ、「捨てる」ことを学んでいきました。余分なものを捨て去った後に、大切なものが残る。しかしその大切なものすらも、あるいは捨てなければならない時が来るのかもしれない。主イエス・キリストの十字架はまさしくそうした出来事だったのではないのでしょうか。御自分の命を捨て、主は救いの道を開いてくださいました。弟子たちはその時初めて、「捨てる」ことの真の意味を知ったのではないのでしょうか。

ウエストミンスター小教理問答

- 問19 人が墮落した状態の悲惨とは何であるか。
- 答 全人類は、墮落によって神との交わりを失い、神の怒りとのおろいの下にあり、また、そのためにこの世のあらゆる悲惨と、死そのものと、永遠の地獄の罰とをまぬがれないものとされている。

使徒信条

われ天地の造り主、全能の父なる神を信ず。
我はその独り子、我らの主、イエス・キリストを信ず。
主は聖霊によりてやどり、処女マリヤより生まれ、
ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、
十字架につけられ、死にて葬られ、陰府にくだり、
三日目に死人のうちよりよみがえり、天にのぼり、
全能の父なる神の右に座したまえり、
かしこより来りて生ける者と死ねる者とを審きたまわん。
我は聖霊を信ず、聖なる公同の教会、聖徒の交わり、
罪の赦し、身体のよみがえり、永遠の生命を信ず。アーメン。

主の祈り

天にまします我らの父よ、
ねがわくは、み名をあがめさせたまえ。
み国を来らせたまえ。
みこころの天になるごとく、地にもなさせたまえ。
我らの日用の糧を、今日も与えたまえ。
我らに罪をおかす者を、我らがゆるすごとく、
我らの罪をもゆるしたまえ。
我らを、こころみにあわせず、悪より救い出したまえ。
国と力と栄えとは、
限りなく、なんじのものなればなり。アーメン。